

「最新図説 脱炭素の論点 2025 - 2026」出版記念シンポジウムを開催します。

日時： 2025 年 6 月 20 日(金) 13:00-17:00

開催方法：オンライン（Zoom）

共催： 一般社団法人 共生エネルギー社会実装研究所（R I S E S）・株式会社 旬報社

参加申し込み方法：下記 QR コード もしくは URL のフォームからお申込みください。

参加申し込み QR コード

参加申し込み URL フォーム <https://forms.gle/KpWf6Lca3QBjp3vx9>



参加申込み期限：【 2025 年 6 月 19 日 20 時まで 】

◆参加費 無料ですが、『脱炭素の論点 2025-2026 版』をご購入いただいた方を対象としたイベントですので、書店・ネット書店にてご購入をお願いいたします。

★書籍直接販売&送料無料キャンペーン★オンラインシンポジウムにご参加の方限定で、弊社から直接のご購入が可能です。ご購入をご希望の方は、以下の URL もしくは QR コードの申し込みフォームにて、お申込みください。お申込みは、対象期間がございますので、ご了承ください。

【書籍直接販売申し込み期限：6 月 5 日～6 月 18 日 17 時まで】

書籍購入の QR コード

書籍購入の URL フォーム <https://forms.gle/6BLtcrc3tetGs7d79>



『最新図説 脱炭素の論点 2025-2026』

一般社団法人 共生エネルギー社会実装研究所・堀尾正毅・秋澤 淳・歌川 学・重藤 さわ子（編著）

【書籍紹介】

藻谷浩介氏推薦！ 「山火事に猛暑、強まる気候危機。対抗して脱炭素策もレベルアップ！」

環境・エネルギー分野の第一線で活躍する執筆陣が、地球温暖化の現状・対策から再生可能エネルギー、カーボンニュートラルによる地域活性化まで、115 の主要テーマを図入りでコンパクトに解説。気候危機の現状から地域活性化まで激動する世界の「脱炭素」の今がわかる！隔年刊行。



【シンポジウムのご案内】

記録的な豪雪、大規模な山火事、トランプ政権による反科学的施策の強行、中国 **EV** の急展開など、気候変動と **GX** をめぐる状況が目まぐるしく展開する一方、我が国では、エネルギー基本計画、温室効果ガスの削減目標、食料・農業・農村基本計画などが刷新され、新たな展開が始まっています。そんな中、「最新図説 脱炭素論点 2025-2026」版が出版の運びとなりました。

今回の **2025-2026** 版は、改訂版とはいえ、前回の **39** 名を大きく上回る **56** 名の執筆陣により、内容を大きくアップデートさせ、激動する世界の課題に正面から向き合い、我が国の **GX** を、日本国民が豊かになる方向で推進するため、力強いツールとなることを目指しております。そこで、全国各地での取り組みの前進と、国や自治体での、社会が元気になる脱炭素政策の進展のため、出版記念シンポジウムを開催することといたしました。（なお、ご執筆者が多数に及ぶため、ごく一部の執筆者にご講演をお願いすることになっておりますことをお許しください。）

脱炭素にご関心のある、市民、企業、行政の皆様、これからの新たな展開を目指す本オンライン・シンポジウムに大挙ご参加いただきますよう、ご案内いたします。

=====シンポジウム・プログラム=====

13：00-17：00

13:00 開会あいさつ 堀尾正韜(RISES)、熊谷 満（旬報社）

13:05 祝辞

13:15 今回の「脱炭素の論点」で目指したもの—— 堀尾正韜（東京農工大学・RISES）

13:35 気候危機と科学者の責務 ————— 江守正多（東京大学）

13:50 気候過酷化の趨勢 ————— 立花義裕（三重大学）

14:05 質疑

14:15 元気な社会を作る脱炭素-日本版グリーンニューディール—— 明日香壽川（東北大学）

14:30 脱炭素への既存技術シナリオ————— 歌川 学（産業技術総合研究所）

14:45 建築のこれから————— 前 真之（東京大学）

14:55 運輸のこれから————— 櫻井啓一郎（産業技術総合研究所）

15:05 休憩

15:15 気候エネルギー政策の大転換を————— 桃井たか子（気候ネットワーク）

15:30 世界と日本、再エネ 9 割の電力システム —— 安田 陽（ストラスクライド大学）

15:45 自治体の視点から————— 小野文明（全国町村会）

15:55 質疑

16:05 食料・農業・農村政策と営農型太陽光発電の課題 重藤さわ子（事業構想大学院大学）

16:15 実践者の立場から————— 馬上丈司（千葉エコ・エネルギー(株)）

16:30 研究者からのゲストコメント ————— 石井雅久(農研機構・農村工学研究部門)

16:40 営農型太陽光の普及可能性と効果予測——— 歌川 学（産業技術総合研究所）

16:50 アナウンス

16:55 閉会挨拶

重藤さわ子